

議会だより

No 182

令和7年
1月31日発行



邑楽町二十歳のつどい

令和6年 12月定例会

令和6年度 補正予算可決（一般会計・各特別会計）

■ 議長年頭のあいさつ	2
■ 可決された議案	3
■ 提出議案と議員の賛否	4
■ 一般質問	5～14

一般質問 10人の議員が町の考えを問う

- ・ 神山 均議員
- ・ 三ツ村由紀議員
- ・ 松島 茂喜議員
- ・ 武井 清二議員
- ・ 松村 潤議員
- ・ 瀬山 登議員
- ・ 山本 裕子議員
- ・ 新村 貴紀議員
- ・ 佐藤 富代議員
- ・ 原 義裕議員

YouTubeにて邑楽町議会
チャンネルを開設しました
本会議の様子をご覧いただけます



議長年頭のあいさつ

町民に寄り添う

安全で安心な町を目指して



議長 黒田 重利

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が少し影を潜め、皆さまの行動範囲も広がり、新型コロナウイルス感染症が流行する以前のにぎわいが戻ってきました。町の活性化につながる各種イベントやスポーツ大会等の事業を通して、多くの町民の皆さまと触れ合うことができるようになり、お話を伺う機会が増えました。

町議会では、本会議や一般質問をYouTubeで生配信し、今までの総視聴回数が約1万9千回と多くの人に視聴されています。

町議会では、昨年に引き続き1月24日に第3回議会報告会・意見交換会を行いました。寒中、会場まで足を運んでいただき、貴重なご意見やご要望をお聞かせいただきました。いただいた意見に耳を傾け、町民の皆さまに寄り添う安全で安心な町を目指し、その責を果たしてまいります。

本年も町民の皆さまのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 黒田重利
副議長 瀬山 登

総務教育常任委員会

委員長 原 義裕

副委員長 小久保隆光

委員 松島茂喜

佐藤富代

新村貴紀

三ツ村由紀

産業福祉常任委員会

委員長 松村 潤

副委員長 塩井早苗

委員 瀬山 登

蟹和孝一

神山 均

武井清二

山本裕子

可決された議案

【専決処分の承認】

令和6年度邑楽町一般会計
補正予算(第4号)

第50回衆議院議員総選挙
を執行するための経費が必
要となり、専決処分された
補正予算について、承認し
ました。

令和6年度邑楽町一般会計
補正予算(第5号)

予防接種法第15条第1項
に基づく健康被害の救済措
置について、厚生労働大臣
の認定に伴う予防接種健康
被害救済給付金の給付を行
うための経費が必要となり、
専決処分された補正予算に
ついて、承認しました。

請願・陳情

1件の請願が受理され、
審査の結果次のとおりにな

りました。

【採択となった請願】

ケア労働者の賃上げと大幅
増員、医療・介護施設への
支援拡充を求める請願書
請願者
前橋市本町
群馬県医療労働組合連合会
中央執行委員長
出浦 匠人

意見書

議員提案の意見書1件を
可決しました。意見書は、
関係行政庁に提出しました。

ケア労働者の賃上げと大幅
増員、医療・介護施設への
支援拡充を求める意見書

提出者 松村 潤議員
賛成者 塩井早苗議員
" 瀬山 登議員
" 蟹和孝一議員
" 神山 均議員
" 武井清二議員
" 山本裕子議員

令和6年度補正予算額(12月)

会計別	予算現額	補正額	予算総額	
一般会計	114億6,196万円	1億9,248万円	116億5,444万円	
国民健康保険特別会計	28億3,415万円	160万円	28億3,575万円	
後期高齢者医療特別会計	4億6,123万円	111万円	4億6,234万円	
介護保険特別会計	22億7,723万円	756万円	22億8,479万円	
公共下水道 事業会計	収益的収入	3億7,248万円	31万円	3億7,279万円
	収益的支出	3億3,090万円	△345万円	3億2,745万円
	資本的収入	2億8,749万円	505万円	2億9,254万円
	資本的支出	3億4,861万円	430万円	3億5,291万円

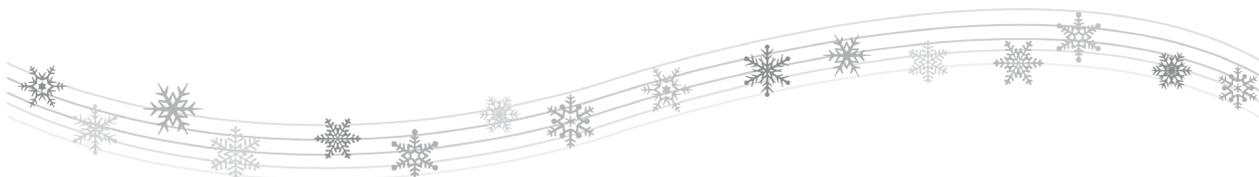
※四捨五入の計算上、予算総額に誤差があります。



令和6年第4回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	議員名														
	山本裕子	三ツ村由紀	武井清二	新村貴紀	神山孝一	蟹和孝一	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	瀬山登	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	
承認第8号 専決処分の承認を求めることについて (令和6年度邑楽町一般会計補正予算 第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	承認
承認第9号 専決処分の承認を求めることについて (令和6年度邑楽町一般会計補正予算 第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	承認
議案第39号 令和6年度邑楽町一般会計補正予算 (第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第40号 令和6年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第41号 令和6年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第42号 令和6年度邑楽町介護保険特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第43号 令和6年度邑楽町公共下水道事業会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
請願第3号 ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	採択
発議第1号 ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	可決

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席
議…議長 (議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します)



議会運営委員会

常任委員会合同視察調査報告

議会運営委員会と各常任委員会では、10月22日から24日までの3日間にわたり埼玉県及び千葉県で合同視察調査を行いました。

今回の視察調査では、3日間の行程で5カ所、各分野における先進地を訪問し、ご教授いただきました。調査した事項は本町の実状に合わせた形で反映できるよう、町民の皆さまと対話を重ねながら町と協力して推進を図ってまいります。

- 道の駅保田小学校について (安房郡鋸南町)
- 子育て支援の取組について (流山市)



戸田市議会 (議場にて)

- 議会運営委員会
- 議会改革の取組について (戸田市議会)
- 総務教育常任委員会
- 書かない窓口について (深谷市)
- 小中一貫教育について (鴨川市立長狭学園)
- 産業福祉常任委員会



一般質問



神山 均
議員

教育・子育て支援 について

問 「小一の壁」という働
きながら子育てをする
家庭にとって直面しがちな
問題がある。その改善策と
して、各小学校には朝7時
からの校舎開放、登校した
児童は空き教室で自習等を
して時間まで過ごす。この
児童を見守る「見守り員」
を町雇用で2人配置する。

また、児童館の開館時間を、
土曜日や長期休業期間等は、
朝7時から利用できるように
変更するという対応ができ
ないか。

答 町長 小学校の見守り
に2人だけの対応は
さまざまな子どもの安全の
確保というところでは、懸
念がある。まずは、子ども
たちの安全が最優先される
べき。近年、各職場におい

ても、労働環境・労働条件
の整備が進んでいるので、
子育ての環境については、
学校だけで対応することは、
はなくて、社会全体で対応
していくべきか。児童館は、
会計年度任用職員が対応し
ているが、労働力の確保と
いう点でやはり課題もある。
引き続き、慎重な検討が必
要である。

問 近隣自治体で、令和7
年度より、小中学校の
学校給食費を全額無償化に
すると発表があった。令和
7年度より町も無償化を
実現してほしいが、町長の見
解は。

答 町長 学校給食費の全
額無償化となれば、単
年度ではなくて毎年度、町

の財政負担となる。全額無
償化をしたいという気持ち
はあるが、やはり義務教育
課程ということであれば、
国が何らかの財源措置を行
わないと、今の当町の中
は、非常に難しい部分もあ
る。しかし、全体的に広が
っていくような動きがあれ
ば、全体の財源のバランス
を見るなど、引き続き、検
討を進めなければならぬ
課題かと思う。

問 八木節等の伝統文化を
保存継承するために、
必要な事業費を対象とする
補助制度ができないか。

答 生涯学習課長 郷土の
伝統芸能と民俗芸能に
対する支援を、国や県の事
業内容を参考に、また、協

働のまちづくり活動支援事
業補助金のPR並びに主旨
を参考に調査検討をしたい。

問 子育て世帯への配慮や
住民生活のサポートな
ど、さらに公共サービスの
質の向上を図るため、月1
日、日曜日の午前中、一部
窓口業務に限り役場を開庁
できないか。

**役場の日曜日開庁
すぐ対応は考えていない**

答 町長 役場の閉庁時の
対応も、現在進めてい
る。また、今は窓口に来
て何か手続きを取るより
も、いわゆるマイナンバー
カードを利用したマイナポ
ータルでの手続きであると
か、そういった電子化の流
れの方が加速化しているの
で、今後は、よりそちらの
方に手続きについてもシフ
トしていく感がある。日曜
日午前中の役場開庁につい
ては、それほど町民からの
ニーズも、寄せられていな

いので、すぐに対応とい
うことは考えていない。

※小一の壁
：子どもの小学校入学を機に、
朝の保育園の預かり時間と小
学校の登校時間との間にギャ
ップが生じるなど、共働き家
庭が直面する仕事と子育ての
両立が難しくなる社会的な課
題

その他の一般質問

- ・ヤード条例の制定につい
て
- ・町社会福祉協議会との連
携等について
- ・農業公社の設立について



「小一の壁」って？



松村 潤
議員

投票しやすい
環境整備についで

問 総務省の選挙管理機関として、位置づけられている選挙管理委員会の投票率向上のために行うべき対策は。

答 選挙管理委員会書記長 投票しやすい環境づくり、町の広報紙・ホームページ・公式SNS等による情報発信、小中学校の児童生徒による明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施各種パンフレットやチラシを活用した選挙啓発活動等の取り組みを行っている。

問 住民票を地元に残したまま滞在先で投票する場合、投票用紙の請求をマインバーカードを使ってオンライン申請することができるのか。

答 選挙管理委員会書記長 現在、オンラインでの投票用紙等の請求はできないが、今後、不在者投票用紙等のオンライン請求ができる方法を前向きに検討する。

問 投票用紙の請求は告示前でもできるのか。

答 選挙管理委員会書記長 告示前でも請求できる。

問 学校では、1人1台のタブレット端末が整備されている。小学校低学年からタブレット端末を活用した主権者教育はできないか。

答 教育長 総務省が作成したICTを活用した学習教材の中に、小中学生

も活用可能な動画がある。また、参加型学習教材集の中に、中学生が活用可能な教材もある。これらを活用し、主権者教育の充実を図る。

問 町では期日前投票所が役場1カ所である。最近では商業施設に期日前投票所を設ける自治体が増えている。商業施設や公共施設に増設してはどうか。

答 選挙管理委員会書記長 増設については、利便性、投票率の向上の観点では意義があると考えますが、町の規模、商業施設や公共施設の状況、設置、運営には多くの費用や人員が必要となることから、現状では増設の必要性は低い。

問 多くの自治体において移動期日前投票所の導入がされている。他市町村の移動期日前投票所の実施状況について把握しているのか。

答 選挙管理委員会書記長 高齢者の移動手段の課題解消等を目的として実施されている。また、若者の投票率向上を目的に高校や大学を巡回している自治体もある。

答 町長 移動式投票所については、費用対効果、効率性の面、町の人口や高齢化の状況を見ながら検討をしていく必要があると認識している。今後も高齢者や障がいがある人の投票機会の確保、投票率の低い若者世代の投票率向上の取り組みを進めていく。

問 移動式投票所の効果についてはどうか。

答 選挙管理委員会書記長 選挙管理委員会の担当者からは「実施している地域、利用できる選挙人の利便性向上には寄与している」という感想を聞いている。

問 町長に問う。

投票率向上への
取り組みを進める



つくば市の移動式投票所（総務省ホームページより）

一般質問



新村 貴紀
議員

今後、邑楽町の 持続可能プランについて

問 今後の邑楽町の持続可能プランについて三役である、教育長、副町長、町長に聞く。12月で橋本町長の体制となり、1年となった。11月11日、12日、18日の3日間、町民広聴会が開かれ、私も全3回参加した。町民の皆さまからいろいろ意見が出たと思う。

残り任期3年間に、三役には、町をこういうふうに進めたいというプランはあると思う。その話をしてほしい。教育長、副町長、町長に質問する。最初は、教育長に質問する。茨城県境町では「すべての子どもが英語を話せる町」として小学校5年生の英検5級保有率が75%。中学3年生の英検3級保有率52・2%（令和

5年データ）小中学校に複数のALTが常駐するなど、町独自の教育をアピールしている。今後、邑楽町独自のアピールできる教育があっても良いと思う。他の地域に比べて「進んでいるね」と言われる特徴ある教育について具体的に考えはあるか。

答 教育長 町に合った学校教育の質と内容の一層の充実ということを中心に重視していきたい。そして、これからの社会をたくましく生き抜いていく力を培っていくために、保護者、地域、学校が子どもたちの成長を支える仕組みを整えたい。保護者や地域の皆さまは、学校に対して「こんな教育をして欲しい」「自分

の力を子どもたちの教育に役立てたい」という思いを持ち、学校は「こんな支援をして欲しい」「地域に貢献したい」という思いを持っている。互いのさまざまな思いや願いを学校の教育活動に反映できる場や仕組みを考えていきたい。それが魅力ある学校、地域づくりへの大きなきっかけになると考える。

問 副町長へ質問する。産業に対して、町は広大な農地があり、町の財産であると思う。現在の農業を否定するつもりはないが、オガニックを含めた新しいことにチャレンジする人たちに、今後の支援の考えを聞きたい。

答 副町長 オガニックという話もあったが、農業的な景観なども含めて魅力ある町になっていければと思う。農家の人たちと一緒に今後も進めていければ良いと思う。

問 町長に質問する。予算も厳しい中で、こういう方向で進めたいという最優先でやりたいという考えを聞きたい。

答 町長 町独自の財源を増やしていかなければならない。産業団地等の整備推進を1丁目1番地と考えている。

問 まず邑楽町って「こういう町だよ」というのを自力で、作っていかなければいけないと思う。職員と議論をする場を持つことを提案する。

答 町長 全庁的な意見交換の場を設けている。それ以外に若手の職員の意見を吸い上げる場というのは、時によっては必要だと思う。

※ALT
(Assistant Language Teacher)
…外国語指導助手

全庁的な意見交換の場を設けている



オーランドさん



三ツ村 由紀
議員

幼児教育・保育施設の再編について

問 年度途中の待機児童数を各施設、過去3年間について伺う。

答 子ども支援課長 今年度及び過去3年間について、年度途中の各施設での待機児童はゼロである。

問 保護者が特定の保育園への入園を希望している場合、待機児童にはカウントせず、保留児童に含まれるが、年度途中の保留児童数を過去3年間について伺う。

答 子ども支援課長 令和6年度は各施設合計10人、令和5年度は合計5人、令和4年度は12人、令和3年度は11人である。

問 なぜ年度途中に保留児童が発生するのか。

答 子ども支援課長 保育所やこども園の定員不足と、保育士不足の2つが挙げられる。

問 配置基準を上回る保育士の確保や、ICTシステムを導入して書類仕事の効率化を図ることで、保育士一人一人の負担が緩和される。業務量の見直しは、離職率の低下や新たな採用につながるかと考えるが、保留児童問題の解消と保育士不足の状況を改善するため、町では何をすべきか。

答 子ども支援課長 保育の受け皿を確保する必要がある、保育士の担う事務作業の負担を軽減するた

めに、ICTシステムの活用も視野に入れ、離職防止や人手不足の解消につなげていく。

問 各幼稚園の利用定員に対する園児数と、各保育園の利用定員に対する園児数は。

答 子ども支援課長 12月1日現在、中野幼稚園は定員150人で園児数は55人、長柄幼稚園は105人で園児数は37人である。南保育園は定員120人で園児数は127人、中央保育園は120人で園児数は121人、風の子保育園は100人で園児数は120人、おうらこども園は教育利用定員60人で園児数は11人、保育利用は定員150

人で園児数は160人である。

問 幼児教育・保育施設の再編検討の経緯について、理由は。

答 子ども支援課長 町立幼稚園の園児数は減少し、十分な集団活動が行えないことや園行事の活性化に支障が出るなどの教育面での問題が生じているからである。

問 職員へのアンケート調査の結果は。

答 子ども支援課長 約80%の職員が、統合の必要性を感じている状況である。

問 保護者へのアンケート調査の結果は。

答 子ども支援課長 約83%の保護者が、統合の必要性を感じている状況である。

問 以上を総括した町長の見解は。

子育て支援は、総合計画の最重点施策の一つ

答 町長 町も保育士の数に余裕はなく、保育士が不足すると待機児童の増加につながる。子育て支援は、総合計画の最重点施策の一つであるため、設置された子ども子育て会議専門部会を中心に、広く保護者のニーズを確認しながら協議していく。



笑顔の子どもたち

一般質問



瀨山 登
議員

通行しやすい道路は、 住み良いまちに繋がる

問 道路環境について伺う。町内の国道354号や

県道足利邑楽行田線、町道幹線道路等の植樹柵や路肩から樹木、竹、雑草等が大きく生い茂って路上に延伸して、交通に支障が出ている。生活環境の悪化状態が長く続いているなど多くの問題が起きているが、処置をしない理由を担当課長に聞きたい。

答 **建設環境課長** 町道の街路樹の管理は、造園業者に委託している。町管理部分の歩道と車道の除草などは、職員等で行っている。国道354号や県道足利邑楽行田線、足利赤岩線の除草や植栽剪定等の苦情を受けた場合は、管理者である館林土木事務所に連絡

して対応を依頼している。館林土木事務所では年1回の除草作業であるため、十分に管理されない状況である。町としては、適正管理の要求を行っている。

問 年1回では適正な維持管理ができない。毎年同じ場所から通行問題が起きている。町として、もっと深刻に対応する必要があると思う。次に、町道幹線道路に民地から延伸した樹木、竹、雑草で通行しづらい状態が延々と続き、土地の所有者にお願いしても変化なく、対応されない状態である。解決策を担当課長に聞きたい。

答 **建設環境課長** 民地から出た物は、所有者を確認して町から通知を出しをお願いしている。町が手を出すことを前提に動くのではなく、民地の管理責任として行っていただいている。通行上危険性がある場合は適宣対応を取っていきたい。

問 所有者に頼っているのは進まないところがあるので、最後は「道路管理者として対応する」という言葉が出ないか。

答 **建設環境課長** いち担当課長としてできない。今までもどおりの道路管理を徹底していきたい。

問 次に、舗装道路に発生した穴の修復工事について伺う。修復までの期間

が長い。平均どのくらい掛かっているのか。

答 **建設環境課長** 補修箇所が緊急性と内容で判断して、概ね1カ月程度かかる。

問 危険性があり、交通量の多い所では拡大する。もっと敏速な対応はできないか。

答 **建設環境課長** 委託業者と調整し、早期の修繕をしたい。事故につながる大きい穴、深い穴は、職員により安全確保をしていく。

問 毎日の生活で使う道路は、通行しやすく、整備されていることが最大の住民サービスになる。町のイメージアップにつながると思う。町長の考えを聞きたい。

安全対策は町の責任において行う

答 **町長** 安全に通行できる道路は、住みよい町、都市の要件として非常に大切だと思う。引き続き、安全対策については、町の責任において行う。時間がかかっている部分は改善していく。



整備された町道幹線 20号線



佐藤 富代
議員

消費者被害を防ぐ 見守りネットワークの構築

問 詐欺事件が繰り返されている。警察庁によると令和4年度悪徳商法被害者は約6万人、被害額は102億円、相談は8836件、高齢者と20歳代が多い。町の現状は。

答 商工振興課長 訪問販売や通信販売による被害が多い。相談の3割から4割が高齢者である。相談件数は、令和3年度175件、令和4年度152件、令和5年度181件である。フィッシングや架空請求、ネット通販や点検商法に関する相談が多い。

問 消費生活センターの主な活動は。
答 商工振興課長 相談に対する助言やあつせん

処理と消費者教育である。令和5年度は181件の相談のうち31件を解決した。今年度は10月末で111件の相談があり、14件を解決した。

問 消費者被害防止のための活動は。

答 商工振興課長 高齢者に対して、行政区ふれあいサロンの出前講座、中学校入学式には啓発資料を配布、行政区役員へ冊子「くらしの豆知識」を配布、産業祭や白鳥まつり、子育てひろばなどでの啓発活動を実施している。広報おうちでは最新事例を年間3回掲載し、注意喚起として回覧や全戸配布を実施している。毎週火、金曜日には広

報車で巡回しながら注意を促している。緊急性があればおうちお知らせメールで周知している。

問 高齢者が狙われやすく被害に遭いやすい。被害に遭うと2度3度と起きる可能性がある。だからこそ周囲の見守りが必須である。町の現状は。

答 総務課長 行政区の防犯パトロールや見守り活動の詳細は把握していない。職員によるパトロールは小学校区単位に毎日巡回している。不審者情報があれば重点的にパトロールしている。

答 福祉介護課長 民生委員・児童委員は、令和6年度特殊詐欺被害防止啓

発の講義を受講した。社会福祉協議会における見守りは、介護サービスや配食サービスの際に高齢者の様子を見ている。地域包括支援センターでは、受けた相談を消費生活センターやケアマネジャーなど関係者につなげる。地域の見守りは邑助けネットワークやボランティアグループが実施している。悪徳商法から高齢者を守るために消費生活センターや介護サービス提供者と連携して消費者被害防止に取り組んでいる。今後、さらに連携を強めたい。

問 見守りに関わる各種団体が横のつながりを持つことがさらなる防止につながるかと考えるが。

答 町長 消費生活センターでは、見守り団体からの相談に対しても被害の未然防止やあつせんにも努め

今後十二分に
議論していきたい



相談は早ければ早いほど解決に

ている。しかし、町では見守り団体の意見交換や情報共有の場がない。今後先進的な事例を調査した上で、十二分に議論していきたい。

一般質問



松島 茂喜
議員

書かない窓口コンシェル

問 現在、邑楽町役場では、住民票や戸籍謄本などの発行手続きは、申請用紙に住所、氏名や生年月日などを記載し、受付に提出して順番を待つ状況である。

しかし、外国人や高齢者などでは、記載する段階で間違いが多く、訂正していたり、訂正作業にも時間がかかることもある。そこで、全国各地では、身分証を提示すると職員が聞き取りを行い、パソコン上で入力することで、手続きが完了する書かない窓口を導入している。議会では深谷市を視察したが、イニシャルコスト約4千万円は、関係職員を2人削減することで、約2年で回収した。また、証明書の発行は平均約9分、住民異

動では約25分手続き時間を短縮した。町庁舎内において、この書かない窓口を導入することについて、その要否を町長に伺う。

答 町長 結論から申し上げれば、既に必要だと考えている。理由は、窓口での待ち時間の軽減や業務の効率化、高齢者や外国人にとってもメリットが多い点である。

問 国では基幹システムの標準化を令和7年度当初から行う予定だったが、現在は不明確な状況である。しかし、やるべき作業はある。庁舎内で組織した業務効率化検討委員会での協議経過と内容を伺う。

答 企画課長 全体で会議を2回開き、その他、分野別の部会で協議を重ね、最終的に11月19日に町三役職員向けに報告会を行った。内容は、デジタル技術を活用した町民サービスの向上と事務の効率化に関するものである。その中で、書かない窓口のシステム導入などがあった。今後は、報告された内容を各担当で精査し、実際に導入できるものがあれば検討していく。

問 これから進めていくという前提だが、その過程において、現時点での課題は何か。

答 住民保険課長 令和7年度中に基幹システムの標準化が予定されている。

移行後にどういったシステムが町にとって効率的であるか見極める必要がある。また、導入するとなれば多額の経費が必要になると考える。どこまでの手続きに反映させていくのか、関係各課との調整が重要だと考えている。

問 経費は伴うが、それ以上のサービスが行えるのであれば、良いことである。経費の削減でも深谷市に実績があるので、見習っていただきたい。どこまで準備を進めるかだが、BPRのために専門部会やワーキンググループの設置が必要である。町長はどのように考えているのか。

準備は早急に
進めていく

答 町長 住民保険課だけの話ではないので、ワーキンググループを設置し、職員の声を聞きながら内容を精査していく必要がある。



深谷市役所に設置されている受付番号発券機

まずは、近隣で導入した自治体に話を伺い、見えてきた課題を町では解決できるよう、準備は早急に進めていく。

※BPR
(Business Process Re-engineering)
：業務本来の目的に沿って既存の業務プロセス全体を見直し、職務や業務フロー、組織、情報システムなどを再構築する手法



山本 裕子
議員

オーガニック給食と 農業教育の導入について

問 学校給食は、子どもたちの成長を支える重要な要素であるが、本町での給食の食材調達状況は。

答 **学校教育課長** 食材調達の流れは、給食センター1物資購入に関する規定に基づき納入登録業者による見積もり合わせを月ごとに行い、基本的には安価な業者に発注している。

問 賄い材料費は年間1億3千万円、児童数は年々減少しているのに対し、給食センター費は年々増加しているのはなぜか。無駄なコストをかけず試験的に一部食材からオーガニック食材の導入を検討する余地はあるか。

答 **教育長** 一歩ずつとなるが検討の余地はあると考える。

問 単に食材を変えるだけでなく、学校教育の間に年間を通して農業を取り入れることでさまざまな問題が解決できると思う。熊谷市にはすでにこの取り組みをしている小学校があり、地域と連携し、野菜、米作りのほか、大豆を栽培し豆腐・味噌作りもしている。町で取り組むには、農家や学校の理解と協力が不可欠であるが、地域全体で農作物を生産、消費する仕組みを構築することは可能か。その際の具体的アプローチはどうするのか。

答 **農業振興課長** 学校によつては農業体験を取り入れており、その取り組みを拡充し農作物を給食に使用、消費につなげることとさまざまな可能性が広がると考えられる。課題については関係者間で協議し検討する必要がある。具体的アプローチは、有機農家と意見交換の場を設け、地産地消や食育の観点から生産した物を給食に提供できるか、農業体験についても協力依頼を相談することは可能である。

問 地域全体での取り組みで、本町に与える影響をどう評価するのか。

答 **教育長** 学校が家庭、地域と一緒に、農

業や食、環境、健康について関心を高め、地域の活性化にもつなげ、子どもたちを育むことは教育の理想的な在り方だと考える。

問 長期的な農業教育を学校のカリキュラムに導入する具体的なプランを積極的に検討してもらえるか。

答 **教育長** 教育部局のみでなく、町部局との連携が必要。町の地域資源を効果的に生かすことは子どもたちの生きる力の育成にもつながるため、この町ならではの具体的なモデルを検討、推進につながるよう考えている。

問 農業と学校教育を融合させた取り組みをどのように評価し、本町での継続的農業体験学習の導入に向けた現状の課題と可能性についてどう考えているか。

価値のある取り組みと
考える



オーガニック農園と給食

答 **町長** 農業体験を拡充することは可能。農地の確保や学校からの距離、通年の管理等の課題はあるが、農業と教育の融合は非常に素晴らしいことであり、価値のある取り組みと考える。

一般質問



原 義裕
議員

第六次後期基本計画について

ついて

問 健康福祉及び医療の環境づくりや高齢者の保健福祉サービス、介護予防対策が進んでいる。高齢者への支援体制やサービスが必要だ。コミュニケーション活動の拠点としている福祉センター寿荘の老朽化がみられるが。

答 **福祉介護課長** 高齢者のコミュニケーションの拠点として位置づけられているが、建設から40年以上経ち、老朽化に伴い修繕が必要な箇所が複数見られる。

問 利用者も早急に、改装・改築が必要だとしているが。
答 **町長** 承知している。早い段階で、改築なり

修繕なりしていきたい。建設検討委員会を立ち上げ、福祉の拠点として予定している。

問 基本計画の重点点に、農業や商業を振興するとともに、産業団地の造成を図るとあるが。

答 **都市計画課長** 産業用地の創出と産業誘致が長年の課題となっており、企業誘致に結びついている。

問 町は東京から遠くもななく、平坦な土地と安価な地域だ。大泉町に隣接する国道354号の東側に誘致を考えて欲しい。
答 **町長** 国道354号を挟んで隣接する東武鉄

道の小泉線北側のエリアは、優良農地が多く、総合計画、都市計画マスタープランともに、現在は産業の拠点としては位置づけられていない。まずは県の区域マスタープランに位置づけられるかどうかということになる。

問 自然環境と共生した潤いある保全について聞きたい。

答 **農業振興課長** 全域の雑草や樹木の間伐を行い、森林整備を実施している。

問 **建設環境課長** 都市公園が17カ所ある。松本公園は古墳群があり、貴重な文化財と触れ合う場である。町民や時代のニーズに合った整備計画を検討する。

問 長柄神社社殿の壁面の彫刻だが、いつ頃のものか聞きたい。

答 **生涯学習課長** 郡で最も格式高い神社であり、見事な彫刻が刻まれた本殿は1779年に建てられた。町指定文化財で、彫刻等の保全については、補助金等の精査や文化財保存修理、活用計画の策定を検討している。

問 どのように保全していくのか聞きたい。

答 **生涯学習課長** 町の文化財係や県の審議委員の専門的な意見を聞きながら連携を図っていく。

問 松本公園内の古墳だが、原型を保っていない。雑木や小竹に覆われ、古墳が分からない。

答 **生涯学習課長** 昭和63年に7基の古墳を文化財に指定した。町としても後世に伝えていくべき文化財である。

問 「住んでいて良かった」と言える町。「住んで良かった」と言える町にしていただきたいが。

町民の意見を聞いて
町政運営を行う

答 **町長** 幸福度や住み心地が非常に良いと評価をいただいている。町民から意見を聞き町政運営を行っていく。



荒れ果てた松本古墳群



武井 清二
議員

町の今後の
ビジョンについて

問 町長が就任されて1年が経過した。この間の実績や成果について聞きたい。

答 町長 まずは現状の把握に努めてきたが、多くの会議や会合に出席し、自分の知識が十分に生かせない場面も多いと痛感した。その中で、高島地区の地区計画推進や福祉センター寿荘の改築に向けた協議、業務効率化検討委員会の立ち上げなどを進めたが、現時点で成果が目に見える形にはなっていない。

問 町政運営を通じて認識した課題や改善すべき分野はあるか。

答 町長 行政需要が増加している一方で、職員

のマンパワーが不足しており、人材の採用や育成が難しい状況である。また、独自財源の確保が進まず、政策的に厳しい中でいかに新たな財源を作るかが課題である。

問 まさに新しい財源の確保が今の町政運営の大きな課題となっている。これは行政経営の根本的な部分である。ちょうど第七次総合計画の準備段階だが、そういった観点で町長の今後のビジョンを伺いたい。

答 町長 人口減少への対応策を意識すると同時に、旧三村の高島村、中野村、長柄村の特色を生かしながら、町民が集える拠点づくりを進めていきたい。

問 他の自治体では、マーケティング手法を取り入れて街をブランディングし、子育て世代の移住者の増加や財源の確保に成功している。邑楽町も独自のコンセプトやターゲットを明確にした政策が必要ではないか。新たなアイデアで全国に先駆けてさまざまな施策を実行している県と連携することも大事である。また、財源の確保には、今の行政コストの削減にも目を向けなければならないが、町長の考えは。

答 町長 公共施設の維持管理費の平準化やDXによる業務効率化が重要である。デジタル化により職員の負担軽減を図り、必要な人件費や業務委託費を抑

制したい。

問 新しい財源を生むという意味で、町の経済活性化についての考えも聞きたい。

答 町長 例えば、工業分野の話に限ると、既存の事業者への対応はもちろん、新たな工業団地の整備も視野に入れて進めていきたい。

問 そのためには何よりも「外交」が重要である。また、工業以外にも商業や観光事業の連携、国外の自治体との戦略的国際交流など、時代の流れに合った新しい先進的な政策も視野に入れてほしい。そして、町の顔としてトップセールスで動いていただきたい。二元代表制である我我も、切磋琢磨しながら問題提起や提案をしていく。

真摯に議論して
いきたい

答 町長 学ぶべきものは学び、真摯に議論しながら推進すべきことは受け入れて、住民にとってより良い行政を目指していきたい。



みんなのふるさと邑楽町



休憩室 The Lounge



浦野 宗久
(十三軒・27区)

思いのまま

私は、団塊の世代で家と会社の往復生活でしたが、退職して11年が過ぎ、昨年喜寿を迎えました。

退職前の65歳の時にゴルフを始め、10年後にやっとスコアが90を切り、仲間と楽しく過ごすことができています。

そして、在職中から地区役員の話をしていただき、6年間仕事をしてきました。加えて、孫の小学校入学を機に、11年間見守り活動を行ってきました。この間に3人の生徒さんから「安全に登校でき、ありがとございました」とお手紙をいただき、励みになりました。昨年、3人目の孫も卒業しましたが、規則正しい生活と健康維持のため、今も見守り活動を続けています。

現在は、野菜作り・老人会活動と共に、グラウンド・ゴルフの大会を通して交流とプレーを楽しんでいます。

これからも、健康維持を図り、楽しみながら続けていこうと思っています。

議会のうごき

11月

- 5日 群馬県町村議会議長会議員研修会
- 13日～14日 町村議会議長全国大会、群馬県町村議会議長会臨時会、群馬県関係国会議員との意見交換・懇談会
- 21日 群馬県町村議会議長会議会広報研修会
- 26日 群馬東部水道企業団議会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 29日 全員協議会

12月

- 6日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 9日～13日 第4回定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全員協議会、議会広報委員会)
- 17日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 19日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会・行政懇談会
- 23日 議会広報委員会編集会議
邑楽館林医療企業団議会

1月

- 11日 館林地区消防組合出初式
- 12日 二十歳のつどい
- 15日 議会広報委員会校正会議
- 17日 群馬県町村議会議長会理事会
- 24日 全員協議会
議会報告会・意見交換会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は **3月4日** から **14日** を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は5日、6日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索

詳しくは、議会事務局まで ☎47-5000

北海道室蘭市

私

の故郷は、北海道室蘭市です。坂が多く、鉄鋼業が盛んなため、

日が沈むと工場の夜景が幻想的に輝きます。「鉄のまち」らしく、ボルトやナットなどを組み合わせて作る「ボルタ」という人形が有名です。

焼き鳥やカレーラーメンといった地元グルメも豊富で、特に内浦湾（噴火湾）で獲れる魚介類は新鮮で美味しく、故郷の自慢の一つです。

大自然にも囲まれていて、小学生の頃に隣の高校のグラウンドに鹿が迷い込み、大騒ぎになった出来事は今でも鮮明に覚えています。

そんな室蘭市から邑楽町に引っ越してきて数年が経ちました。この町は子育てがしやすく、人々が親切で、温かいところが魅力です。最初は土地や気候の違いに戸惑うこともありましたが、今ではすっかりなじみ、この町での暮らしを楽



小野寺 巽
(前原・4区)

しんでいます。これからも邑楽町の魅力を発見しながら、地域の一員として日々を大切にしていきたいと思っています。



幻想的な工場夜景

編集後記

12月最後の議会も無事終了し、昨年は国内で10月に衆議院総選挙、海外ではアメリカ大統領選挙もあり激動の1年でした。

議会におきましても、安全、安心、住んで良かったと思える町づくりにさらに発展させるため、10月22日から24日の3日間で視察調査を実施し、埼玉県深谷市、戸田市、千葉県鴨川市、鋸南町、流山市に訪問し先進的な行政や地域活性化について話を伺い、現場も見学させていただきました。12月定例会の一般質問におきましても、これらを参考に町側との論戦を行うことができ、視察調査で学んできたことを参考に多くの皆さまに納得していただける町づくりについて提案することができたと思います。

また今後につきましても、議会報告会に参加された皆さまのご意見や議会研修会で学んできたことを生かし、さらなる安全、安心、住んで良かったと思える町づくりを目指す議論を深めていきます。

(新村記)